

意味をもった“扁^{へん}”の例

仕 ^{にんべん} 人扁 人の意味の部首です。
 仕=人が ^{さむらい} 士として“つかえる”こと。音は士が表わしています。会意字で、形声も兼ねています。

珠 ^{たまへん} 玉扁 玉の意味の部首です。
 珠=^{あか}朱い玉のこと。ただし、今では色に関係なく使います。音は^{しゅ}朱。会意字ですが形声でもあります。

防 ^{こざとへん} 小里扁 ^{がけ} 崖の意味の部首ですから、“崖扁”と名付けた方がよいと思います。

防=四方を崖で囲って“ふせぐ”こと。音は^{ほう}方です。会意、兼、形声字です。

神 ^{しめすへん} 示扁 神様の意味の部首です。
 神=^{しん}申は雷こと。雷(古い字は轟。“神鳴り”天の神様と考えられていました)という意味。音は^{しん}申。会意、兼形声。

初 ^{ころもへん} 衣扁 衣類(着物)の意味の部首。
 初=着物を作る時、一番^{はじ}“初め”にすることは布を截断すること

とです。会意字です。

性 ^{りっしんべん} 立心扁 心の意味の部首。
 性=生まれながらの心という意味の字で、会意です。音は^{せい}生、形声字でもあります。

財 ^{かいへん} 貝扁 財産(お金)の意味の部首。
 財=大きな働きを秘めた(才)お金、という意味の字です。木の場合は材、お金の場合は財。会意・形声字。

銅 ^{かねへん} 金扁 金属であることを示す部首。
 銅=^{どう}同と発音する金属。形声字です。

腸 ^{にくづき} 肉月 肉体の部分の名を示す部首。
 腸=^{ちよう}易は^{ちよう}長の代用。肉体の中で最も長いものを表わした字。会意・形声字。

種 ^{のぎへん} ノ木扁 稲の意味の部首。
 種=よく実って重い稲粒を“たね”とするので、“重い禾”で“たね”を表わしました。会意字。

猿 ^獣 獣扁 獣の意味の部首。
 猿=^{えん}袁と発音される獣のことです。形声。

^{はばへん} ^{ぬの}
巾扁 布の意味の部首。

希 希=𠂇は𠂇で刺繍の象形。刺繍の施された布、という意味の
会意字です。それは貴重なものなので①少ない(まれ)②ほしがる(望
む)という意味に使います。

^{ぎょうにんべん}
行人扁 道の意味の部首。彳は行(𠂇)で、道の象形。

徑 徑=まっすぐという意味の至^{けい}と彳とで、“真っすぐな近道”とい
う意味の字。会意・形声字

^{さんずい}
三水=水の意味の部首。氵(水)の左半分(𠂇)の形です。

徑 波=“なみ”は、水の表面に生ずる皮のようなものです。会
意・形声字。音は皮^ひの変化したもの。